

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
腎細胞癌 ペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法(3週毎)		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生食50mL(プライミング用) ② <b>キイトルーダ</b> 200mg + 生食50mL 最終濃度は1~10mg/mLとする。 0.2~5μmインラインフィルター使用。 調製後6時間以内に投与完了。 ③ 生食50mL(フラッシュ用)		
day1-21	<b>レンビマ</b> 20mg 1日1回		
コメント	診療科登録制(リスト参照)。 d1-21 レンビマ 20mg/d内服。		

プロトコールに関する解説
<p>本治療法は、免疫チェックポイント阻害薬(ペムブロリズマブ)とチロシンキナーゼ阻害薬(レンバチニブ)を併用した治療法であり、進行腎細胞癌に対する1次治療として効果が示されています。臨床試験により、チロシンキナーゼ阻害薬単剤(スニチニブ)より、有意に優れていることが確認されています。</p> <p>免疫療法による副作用とチロシンキナーゼ阻害薬による副作用の各々、もしくは両方がみられることがあり、当科では、初回治療は入院にて行っております。副作用により薬剤の減量、休薬および中止となることもあり、ペムブロリズマブの副作用である内分泌障害の状況によっては、ホルモン投与の補充が一生必要になることもあります。</p>